

第20回 AF総会報告

2006年11月開催 / 於カンケン

(財)日本適合性認定協会

事務局報告

1.新規会員 (2005年第19回総会以降)

·ESYD – Hellenic Accreditation System of Greece

·EGAC - Egyptian Accreditation Council

·IPAC - Portuguese Institute for Accreditation

·DACP – Dubai Accreditation Centre

注：IAF会員数

Accreditation Body Members : 50

Association Body Members: 14

Special Recognition Regional Groups: 4

Partner Members : 2

Technical Committee 報告と決議事項 (1)

主な活動状況：

継続中プロジェクト

- 1 .ISO/IEC Guide65の見直し
- 2 .ISO/IEC 17011 ガイダンス開発
- 3 .ISO/IEC 17021ガイダンス開発
- 4 .ISO 14065ガイダンス開発
- 5 .ISO/IEC JTC1/SC27 と共同によるISO/IEC 27006 開発
- 6 .ISO/IEC 17024 改訂ガイダンス開発 他

完了プロジェクト

- 1 .ASRP/CAATガイダンスの見直し
- 2 .ASRPへの移行ガイダンス開発 他

新規プロジェクト

- 1 .GD2およびGD6の付属書見直し
- 2 .ISO/IEC 17021 への移行ガイダンス検討
- 3 .認定審査員の力量に関するガイダンス開発

Technical Committee 報告と決議事項 (2)

総会決議事項 :

- 1 .ISO/IEC 17021:2006への移行期間を規格発行日から24ヶ月とする。
- 2 .ISO/IEC Guide62およびISO/IEC Guide66による認定は、2008年9月15日をもって無効となる。
- 3 .IAF GD2およびIAF GD6の付属書は、見直しが行われるまで、継続適用する。

MLA Committee 報告と決議事項 (1)

主要活動

1. Peer Evaluation とMLAの新規承認

1)新締結地域：IAAC (南北アメリカ)- QMS

2)新締結認定機関：

DSM (Malaysia) - EMS

ESYD (Greece) - QMS, EMS, Product

IPAC (Portugal) - " "

SA (Slovenia) - " "

2. Cross Frontier 認定の推進

1)Cross Frontier 認定の実態調査 (2004年開始以降)

2)全てのクリティカルロケーションの審査完了期限の検討

MLA Committee 報告と決議事項 (2)

FCL審査に関する総会決議事項： (FCL 海外クリティカルロケーション)

1 .[QMS/EMS]

2006年末までに認定された全てのFCLの現地審査を
少なくとも1回、**2007年末までに実施する。**

2 .[Product]

2006年末までに認定された全てのFCLの現地審査を
少なくとも1回、**2008年末までに実施する。**

3 .MLA MCは、FCLおよび海外事務所に関する調査を

2007年5月1日までに行い、2007年10月のMLA Committeeに報告する。

注：上記1, 2に関連し、2007年1月以降新規認定のFCLについては

ISO/IEC17011に定める主要な活動を行う事業所への審査に関する
規定(7.5.7, 7.5.8)との関係を整理する必要があり、決定に至らず。

IAF Strategic Plan 2006

13のStrategic Initiative からなる計画が承認された。

[主な内容]

- 認証に対するエンドユーザの声の収集、IAF活動への反映
- 認証組織が着実に成果を出せるように、認定 認証機関のツールとしてのIAFガイダンスの開発 改定
- Peer Evaluationの継続的改善（プロセス、結果の公開など）
- IAF Websiteの改善やMLA活用のプロモーション など

役員選挙

Chairman: Dr. Thomas Facklam (DAR) - 再任

Vice Chair: Ms. Elva Nilsen (SCC)

Director: Dr. Lorenzo Thione (SINCERT-FIDEA) - 新任

Director: Mr. Girdhar Gyani (NABCB)

Director: Mr. Guenther Beer (BDI)

Director: Mr. Pierre Salle (IAAR)

その他

- IAF財務報告と2006年度予算の承認
- Development Support Committee報告
- Communication and Marketing Committee報告
- 今後の IAF総会開催日程
 - 2007年総会
 - 場所 : Sydney, Australia
 - 日程 : 10月 19~ 31日
 - 2008年総会
 - 場所 : Stockholm, Sweden
 - 日程 : 9月 8~ 18日
 - 2009年総会
 - 場所 : Vancouver, Canada

トピックス

JAB-UKAS-RVA 3認定機関の間で、合同審査に係る基本協定を締結（2006年11月8日付）



IAF技術委員會報告

内 容

- ISO/IEC 17021への対応
- ISO/IEC 17021研修
- 主なプロジェクトの進捗状況
- TCから総会へ提出した決議
- 今後のTC開催予定
- 資料(参考情報)

ISO/IEC 17021への対応

- 移行期間は？
- IAFガイダンスはどうなる？
- IAF移行計画は？

移行期間についての審議(1)

- 前回ローマTCでの仮提案を正式審議
 - 当初は移行期間18か月
- EAが2年を提案
 - EACCでの合意に基づく
- JABからも2年を提案
 - JIS化時期を踏まえて
- IIOCが柔軟な移行を提案
 - ビジネスサイクルの考慮

移行期間についての審議(2)

- 2年の提案に対する支持
 - EA以外の認定機関ではSCC
 - 審査登録機関団体メンバー
 - IIOC ,EFAC ,IQNet ,IAAR
- 移行期間は規格発行日から2年で合意
 - ~ 2008年9月14日

IAFガイダンスの扱い

- 17021のガイダンス (開発中のGD21) の扱い
 - 既に既存IAFガイダンスが17021に多く採用されているので, **直ちにGD21として新規に発行することはしない**
 - 移行期間中に必要性を判断する
- 既存のGuide 62/66のガイダンス (GD2/6) の扱い
 - GD2及びGD6の付属書についてのみ, 17021に合わせて最小限の見直しを行い **独立文書として発行する**
 - それまで, これら既存の付属書 (認定範囲分類, 審査工数, 多数サイト, 登録の移転, ASRP) は **有効な文書とする**

タスクフォースの設置

- IAF移行計画ガイダンスを起案するTFを設置
 - 3認証機関団体と認定機関が参加
 - 主査：IIOC
 - メンバー：JAS-ANZ ,JAB ,IAAR ,IQNet
 - JABからは、登録証の扱いと他のプログラムへの言及の必要性を提案
- TFが起案した原案を2日目のTCへ提示

IAF移行計画ガイダンス案(1)

- 直ちに17021のIAFガイダンス (GD21)を発行することはしない
 - ただし,現行GD2及びGD6の付属書については, 17021に合わせて見直し独立文書として発行する
 - それまで,現行GD2及びGD6の付属書は有効な文書とする→IAF総会決議
- **新規**認定申請するCBに対しては, 17021を適用するのか既存G62/G66を適用するのかを認定機関が明確にする

IAF移行計画ガイダンス案(2)

- 既存CBは、

- (17021と自身のマネジメントシステムとの)差異を識別し、必要な変更と時間枠を決めたCB自身の移行計画を作成し、認定機関と合意すること
- 容易な変更については、17021の該当部分を遅滞なく実施すること

IAF移行計画ガイダンス案(3)

- **認定機関は**、
 - CBの移行計画を**審査**する
 - 書類審査を想定
 - 審査により,各CBが移行完了する時期(ただし,2008/09/15以前)について**合意**する
 - 審査により,17021に対する解釈の相違があれば,IAF指針の必要性を特定する

IAF移行計画ガイダンス案(4)

- 対応容易でない変更については、組織との契約更新又は登録証再発行の時点での移行が適切であり、この場合2年間で完全移行しないことがあり得るので、
 - CBの移行計画に明記し、認定機関の**同意**を得ること
 - この**追加の期間**は、通常の業務サイクルに整合したものであって、2年の移行期間終了時(2008/09/15)から**12か月を越えないこと**
- 17021に対する審査のみの目的で認定機関が追加訪問することは不要。ただし、早期の17021認定を希望するCBの要請によっては必要となる場合がある

IAF移行計画ガイダンス案(5)

- 移行期間中は、17021に未対応の課題をCBに指摘するに留めるが、**移行期限後は不適合**となることを明確にする
- この期限後の不適合については、移行期限を越えてCBが17021に対応しようとする変更について**事前に認定機関と合意している場合**、認定に悪影響を与えたり17021認定証の発行を妨げたりしない

IAF移行計画ガイダンス案(6)

- 2008/09/15をもって,すべてのCBは17021に完全適合していて認定証が発行されていることが期待される
- 17021に基づく新スキームの新規認定申請には,17021を直ちに適用することが期待される。新スキームに使用される規格は,認定機関が明確にする
 - FSMS,ISMSを想定

移行計画の今後の予定

- IAF全メンバーによる60日コメント
 - ~ 2007年1月30日
- TF及びTC委員長によるコメント処置
 - ~ 2007年2月中旬?
- IAF全メンバーによる30日投票
 - ~ 2007年3月中旬?
- 次回IAF/TC (2007年3月26-27日) 前後に承認・発行か
- JAB文書でIAF移行計画を引用予定

ISO/IEC 17021研修

- TCの3日前に開催
- Train-the-trainer training
 - 各地域・機関における17021研修の講師養成
- 講師は、17021を開発した
ISO/CASCO/WG21の共同主査2名
- 参加者は、JABを含めほとんどが認定機関

主な質疑(1)

- 全般：規格タイトルのRequirementsにGeneralを付けなかったのは？
 - マネジメントシステム認証に対してSpecificな要求事項
 - 序文に示されているように, Genericではある
- 全般：用語の変更又は選択
 - Assessment → audit
 - Subcontracting → Outsourcing
 - TransparencyでなくOpenness

主な質疑(2)

- 9.2.3 : 第1段階審査では不適合を指摘しない?
 - 第1段階審査の所見では、第2段階審査において不適合として分類される可能性が懸念されるすべての領域の特定を含む」とあるが
 - 「所見」は不適合を含み得る(ISO 19011)

主な質疑(3)

- 9.1：不適合の分類は、初回認証審査だけでなく再認証審査においても適用されるか？
 - Yes. (any other NCsは、計画の容認でも可)
 - 9.4.2.2 不適合に対する修正及び是正処置が認証の有効期限前に実施されるようCBがその期限を定める
 - 「定める」のが「有効期限前」ということではない
 - 有効期限まで十分な時間をとった再認証審査時期とすべき

主な質疑(4)

- 9.2.1 e) : 申請受理時に組織に求める情報で"other requirements"とは?
 - 例えば, TL9000
- 9.2.3.1.3 : 第一段階審査と第二段階審査との間隔について
 - 間隔が短い場合には, それに伴うリスクがあることを事前に組織と契約で合意しておくべき

主な質疑(5)

- 5.2.6：認証機関による「ギャップ分析」の提供は、内部監査提供禁止に抵触しないか？
 - 解決策の提供にあたるか否かがキー
- 5.2.8：コンサル機関への審査の委託(禁止)と個別審査員との契約(許容)の境界
 - 個人でも機関のケース
 - 認証機関の手順に従うのか否かがキー
 - リスクが懸念されれば、認定審査で調査対象

主な質疑(6)

- 6.2.1 c) : 公平性委員会が認証機関へ助言する際の「透明性と一般社会の認識」の問題とは?
 - 苦情情報とそれへの対応が一つの例
- 9.6.3 : 「公にアクセス可能」とは認証機関側にとってactive/passiveな対応?
 - 方法の自由度は認めるが「要請に応じて提供」とは異なる

主な質疑(7)

- 10：認証機関のマネジメントシステムについて,2つのOptionがあるが?
 - IAFとしてどちらかを推奨する予定はない
 - Option 2では明示的な「設計・開発」の要求事項がないように見えるが,実質的に必要な機能
 - 力量の分析が関連
 - 同様に,「監視・測定」や「データの分析」も是正処置や改善のためのものであることを考えれば,実質的に必要な機能
 - Option 2でも是正処置や改善に言及している

主なプロジェクトの進捗状況

1. ASRP-CAAT TF
2. 27006 TF (ISMS)
3. 20000 WG(ITサービスマネジメント)
4. 17021 TF (認証機関用ガイダンス)
5. APG/AAPG (最適審査実施要領)
6. ISO登録件数調査
7. EMS規制要求事項の審査
8. 14065 (温室効果ガス)
9. 17024 (要員認証)
10. G65 (製品認証)
11. 17011 (認定)

ASRP-CAAT Task Force

- Advanced Surveillance & Reassessment Procedures (先進的サーベイランス・更新審査手順) – Computer Assisted Auditing Techniques (電子審査)
- JABから報告
 - IAF GD6:2006へ指針追加しIAF投票で承認後発行されたことの報告
 - AM/WD I(代替審査/成熟審査)からの移行計画 GD7:2007を開発しIAF投票で承認後発行されたことの報告
 - TFの任務完了

27006 Task Force (ISMS)

- TGAから報告
- ISO/IEC/SC27/WG1との会議
 - 2006年5月のフランクフルト会議とマドリット会議
 - 会議後FCD2006の回付 (4か月投票)
 - 2006年9月のモントリオール会議
 - FCD27006に対するコメントの処置
- FDIS 27006
 - 10月のEACC会議で,要求事項文書として発行しないようISOへEAが要請する決議を採択したとの報告
 - 2か月投票開始 (~ 2007年1月10日)

20000 WG(ITサービスマネジメント)

- JABから報告
- itSMFとの対話
 - 20000認定 認証に関するitSMFとIAFの協力
- ISO/IEC JTC1/SC7/WG25との対話
 - ISO/IEC 20000の改定 (Part 3の開発含む)へのIAFからのインプット
- 次回サンフランシスコTC (2007年3月)で初会合をもつ
 - IAF外部からのゲスト招聘 (itSMF, JTC1/SC7/WG25)
 - IAFサーベイの検討
 - ガイダンスの必要性検討

17021 TF

- 既存IAFガイダンス付属書の改定案検討
 - 付属書A: 認定範囲分類 (QMS)
 - 付属書B: 審査工数 (QMS)
 - 付属書C: 多数サイト(QMS・EMS)
 - 付属書D: 登録の移転 (QMS・EMS)
 - 付属書E: ASRP (QMS・EMS)
 - 付属書F: 審査工数 (EMS)
- JABは,付属書Eの起案を担当

APG & AAPG報告

○ APG

- 「設計及び開発プロセスの審査」見直し
 - IAF/TC直後のTC176釜山総会で引き続き検討
 - 他のMSを含める? → ToRの見直し要
- 「相互評価」を新規起案検討?

○ AAPG

- 4件を新規起案検討中
- 「認定審査員の力量基準」
- 「認定範囲の審査」
- 「審査工数 (IAF GD2付属書2) の審査」
- 「公平性委員会の審査」

APG・AAPGの今後の予定

- 改訂及び新規資料については ,APG・AAPG内メール確認後及び両主査の承認で発行(ウェブサイト掲載)
- 今後の会議
 - APG
 - 釜山 ,2006/11/16(TC176総会に合わせて)
 - APG・AAPG
 - サンフランシスコ ,2007/03/26の週(IAF/TCに合わせて)

ISO登録件数調査TF

- ISO中央事務局の検討依頼を受けて前回TC(ローマ)で設置
- 登録件数調査方法見直しを提言
 - サイト数のカウント
 - IAF MLA加盟認定機関により認定された認証機関からのみデータを収集
 - 認証機関から直接データ収集
 - National Member Bodyや認定機関を経由しない
 - 認定機関は、認証機関の連絡先データのみIAF経由で提供する

EMS規制要求事項の審査

- IAFでのWG活動は休止中
- EAで,EMS認証と規制要求事項についての資料を開発中
 - コメント収集段階を終了し,2006年内に投票開始予定
 - EA以外のメンバーへの同資料の提供をJABから依頼した

ISO 14065のIAFガイダンス

- ISO 14065
 - GHG (温室効果ガス)のvalidationとverificationを実施する機関に対する認定のための要求事項
- タスクフォース
 - UKAS ,JAB ,IIOC ,TGA/EAが参加
- ガイダンス必要項目
 - 債務及び財務 ,力量 ,コミュニケーション及び記録 , validationとverificationのプロセス
- 今後の予定
 - 12月と(TCに合わせた)3月にTF会議開催
 - IAFコメント期間を経て ,2007年総会での承認を目指す

ISO/IEC 17024 (要員認証)WG

- ガイダンスの検討項目
 - 4.3.2 認証スキームの妥当性確認
 - 4.3.6 公平, 有効で信頼できる試験
- MLAの検討
 - WGからEC(執行委員会)への提言
- IPCによる審査員認証機関の“approval”
 - IAF MLAとの重複の懸念

ISO/IEC Guide 65 (製品認証)TF

- IAF投票により承認
 - プロジェクト開始からIAFとして異例の長期間(4年)を要した
- 主な議論
 - 法人格
 - 公平性を確保する組織機構
 - 試験設備(機関内部と下請負契約先)
 - マーク
- JAB P300改定予定

ISO/IEC 17011 (認定)関連

- 17011 Task Force
 - 17011ガイダンスをILACと合同で開発中
 - Draft 11を作成
 - 2006年内に60日コメント開始予定
- 認定審査員の力量指針
 - 19011TF解散
 - 認証機関の審査員→17021 Part 2
 - 認定機関の審査員→議論の受け皿が必要
 - ILAC-IAFの合同TF設置
 - A2LAとCOFRACが共同主査
 - ILAC指針文書をベースに開発予定

TCから総会へ提出した決議

決議2006-09 ISO/IEC 17021移行期間

- ISO/IEC 17021へ適合するための移行期間を同ISO規格発行日から24か月とする
- したがい ,2008年9月15日をもってGuide 62及びGuide 66に基づく認定は有効でなくなる
- IAFガイダンスGD2及びGD6の付属書は , 改訂により置き換わるまで適用を継続する

資料(参考情報)

IAF TCの運営

- 委員長 Randy Dougherty (IAAC & ANAB)
- 副委員長
 - Lorenzo Thione (EA & Sincert)
 - Joan Brough-Kerrebyn (PAC & SCC)
- セクレタリー Penny Gamache (ANAB)

ISO/TC176とIAF/TCとの協力

- 合同主査体制の会議 -

- ISO 9000 Advisory Group (IAG)
 - Nigel Croft-ISO/TC176
 - Randy Dougherty-IAF TC
 - JAB参加
- Auditing Practices Group (APG) & Accreditation Auditing Practices Group (AAPG)
 - Alex Ezrakhovich-ISO/TC176
 - Lorenzo Thione-IAF TC
 - JAB参加

TC Liaison (1/5)

- TC代表が指名されている会議 -

- ISO/TC207/WG5 & Joint ISO/CASCO/TC207/WG6-Greenhouse Gases (GHG)
 - Phil Shaw-UKAS
- ISO/CASCO/WG21-ISO/IEC 17021-2
 - Jean Pierre Jaunin-SAS
- ISO/CASCO/WG23-共通要素
 - Randy Dougherty-ANAB

TC Liaison (2/5)

- TC代表が指名されている会議 -

- ISO/TC207
 - John Owen-IAF Secretary
- ISO/TC176
 - John Owen-IAF Secretary
- ISO/TC34/WG8 & Joint
ISO/CASCO/TC34/WG11-22000 & 22003
(食品安全)
 - Kylie Sheehan-JAS-ANZ
 - JABからJISC代表エキスパートとして参加

TC Liaison (3/5)

- TC代表が指名されている会議 -

- International Aerospace Quality Group (IAQG) 航空宇宙
 - Norbert Borzek-TGA
 - JAB参加
- Program for the Endorsement of Forest Certification schemes (PEFC) 森林認証
 - Varpu Rantanen-FINAS & Jaroslav Tymrak-PEFC

TC Liaison (4/5)

- TC代表が指名されている会議 -

- Global Food Safety Initiative (GFSI)
 - Ignacio Pina-ENAC & Catherine Francois-CIES
- EurepGAP 農産物
 - Ignacio Pina-ENAC
- QuEST Forum 電気通信
 - Usha Shah-Motorola & Nigel Croft-ISO/TC176
 - JAB参加

TC Liaison (5/5)

- TC代表が指名されている会議 -

- Information Security Management Systems (ISMS)-ISO TS 27001
 - Roger Bennett-BSI
- International Electrotechnical Commission/IECQ
 - Randy Dougherty-ANAB

APG

- IAGのサブグループとしてAPGが発足(2004)
- ISO 9001審査の信頼性確保に寄与することを目的に,良い審査のための有用な情報をAPG paperとしてTC176ウェブサイト上で提供
 - www.iso.org/tc176/ISO9001AuditingPracticesGroup
 - 無料ダウンロード可
 - JACBのウェブサイト(日本語版APG資料)にリンク

AAPG

- 2005年から認定審査を対象としたAAPG発足
 - APGウェブサイトとリンク
 - 17021との関連によりCASCOとLiaison関係
 - JABのウェブサイト(日本語版AAPG資料)にリンク
- IAF/TCは、審査登録機関及び認定機関がこれらの資料を参照することを推奨